



令和6年度 第1号  
令和6年4月9日  
熊本市立本荘小学校  
校長 西川 英臣

令和6年度も、思いやりの心と笑顔で「あいうえお」いっぱいの本荘小にします。

うららかな春の日差しの中、本荘小学校の令和6年度がスタートしました。本荘小学校長の西川と申します。本荘小で「学校づくりは夢づくり」を目指して早くも4年目になります。これまでどおり、「あいうえお」いっぱいの学校を目指します。よろしくお願い致します。

本年度は、シンプルに「笑顔と思いやりの心で『学校が楽しい、授業が楽しい、みんな大好き』本荘小」という教育スローガンを立てました。もちろん、昨年度までの3つのS (Smile 笑顔、Sincere

誠実、Sympathy 思いやり) を基盤にしてです。「なかよく・かしこく・たくましく」の校訓のもと、長年の伝統を受け継いで、「あいうえお」いっぱいの学校づくりに全力を傾ける所存です。

本校に赴任して4年目となります。本荘小のこどもたち、保護者の皆様、地域の方々のすばらしさは、誰よりもありがたく思っております。すばらしい学校です。今年度は初心に立ち返って、本荘小のこどもたちにしっかりとした力をつけることに努力したいと思います。

では、どんな力をつけるのかと言いますと、これまでは、本荘小の伝統を受け継ぐとともに、これからの未来を切り拓くことのできるこどもたちを育てることを大きな目標としておりました。そのためにより具体的な力として、学力の向上を目指していきたいと思えます。

しかしながら、一昔前の詰め込み型教育で漢字練習や計算練習を無理強いしても、これからの時代で求められる力は身につかないはずで。ただし、基礎的なスキルとしては必要ですので、漢字や計算をおろそかにするわけではありません。まずは、学びに向かう力が必要であるということです。課題から逃げずにはなく、課題解決のために必要な力を考え、習得し、自らの力でやり抜いていかねばなりません。そのような主体的な学びの中では、文章を考え表現する力が必要になります。日常で必要ないろいろな値を求めるには、立式したり計算したりする力が必要です。当然、漢字や語句も習得しなければならないし、計算もできるようにならないといけません。そのうえで解決法を考えたり、話し合ったりするための思考力やコミュニケーション能力が必要になります。そういった力を総合的に向上させていきたいと思えます。

また、こどもたちの学力向上を妨げるものについても分析していかなければなりません。スクリーンタイムの問題、睡眠時間の問題、やるべきことをきちんとやり遂げる力、ご家族の言うことをきちんと理解して、素直に行動する力、苦しいことから逃げない力、様々な要因があるはずで。そのような課題にも、保護者の皆様と手を携えながら、こどもたちが未来を切り拓く力としての学力向上を目指していきたいと思えます。この学校だよりでも度々取り上げていく予定です。(裏面に続きます)



近日中に、本校 HP に今年度の学校運営構想を UP したいと思いますので、本校教育へのご理解ご協力をよろしくお願い致します。

今年度は、4月9日現在で、3人の先生方が転入されました。毎年のことですが、やる気のある先生方ばかりです。先生方は、子どもたちとの出会いを大変楽しみにしておられました。

今年度も思いやりの心で笑顔の本荘小にしたいと思います。よろしくお願いいたします。(校長)

### 校長先生の虫眼鏡「春休みのスナップ」

ノースポールとピオラです。春休みの間も、きれいに咲いておりました

